

第1回 アイヌ語入門

イランカラプテ!

今回は日常で使われる簡単な挨拶からはじめましょう。

※  の部分はアクセント

イランカラプテ

irankarapte

こんにちは

アイヌ語の挨拶表現です。昔は男性同士の形式ばった挨拶の時にだけ使ったようですが、現在はもっとカジュアルに、いろんな場面で使うようになっていきます。アイヌ語には、おはよう、こんにちは、こんばんは、のような言い分けはないので一日中、どの場面でもこの『イランカラプテ』でOKです。プを小文字表記にしているのは日本語のプ pu のように p の後に母音 u の音が伴わない、普通日本語では使わない音をあらわすためです。

イヤイライケレ

iyayraykere

ありがとう

感謝を表す言葉です。どんどん使ってみましょう!

ヒオーイオイ

hioy' oy

ありがとう

こちらも“ありがとう”ですが、『イヤイライケレ』よりもっと軽く感謝を表せる言葉です。おもに女性が使う言葉ですが、どしどし使ってください。

ヒンナ

hinna

いただきます ごちそうさま

漫画ゴールデンカムイで頻出する言葉です。作品の中では“おいしい”というニュアンスで使われていますが、実際は食べ物をもらった時、ごちそうになる時などに発する言葉です。“いただきます”“ごちそうさま”のようにも使えます。

イペアン ロー

ipe=an ro

いただきます

こちらが最近よく使われる“いただきます”です。イペ(食事をする) アン(私たち) ロー(~しましょう) という要素で成り立っています。イペアンで“私たちが食べる”という意味ですがローマ字表記で使う = はこの後のアンが“私たち”を表すアンですよ、ということを示す記号です。

イクアン ロー

iku=an ro

乾杯

イク(お酒を飲む) アン(私たち) ロー(~しましょう) という要素で成り立っています。『イペアンロー』と同じく = はこの後のアンが“私たち”を表すアンですよ、ということを示す記号です。宴会の始まりにはピッタリの言葉で“乾杯”として使えます。

スイ ウヌカラン ロー
suy unukar=an ro
さようなら

スイ(再び) ウヌカラ(会う) アン(私たち) ロー(~しましょう) という要素からなり中国語の“再会”に似ていますね。別れの挨拶として使います。

アプンノ パイエ ヤン
apunno paye yan
いってらっしゃい

アプンノ(無事に) パイエ(行く) ヤン(~して下さい) という要素から成り立っています。去る人に向けて言う別れの言葉です。



アプンノ オカ ヤン

apunno oka yan

さようなら

これも“さようなら”と訳せますが アプンノ(無事に) オカ(いる) ヤン(~して下さい)という要素から成り、去る人が(家に)残る人に向かって言う別れの言葉です。

これから少しずつアイヌ語をおぼえて行きましょう!
どうぞ期待下さい!

